

行政報告—町長

○防犯協定締結について

旭川地区トラック協会より、災害時における物資の緊急・救援運送等に関する協定の締結について申し入れがあった。これまでも多くの企業等と防災協定を締結しており、この度も災害時にスムーズな物資輸送をお願いしたく、締結をした。今後も、住民の生命、財産を保護するために有効と考えられる内容については、防災協定の締結を推進していきたいと考えている。

○地域見守り活動に関する協定について

稚内信金幌延支店及びヤマト運輸(株)稚内支店と、地域見守り活動に関する協定を締結した。これまでも、幌延郵便局、生活協同組合コープさっぽろ、もんでん新聞販売所と同様の協定を締結しており、判断能力が低下した方の孤立化や、事件に巻き込まれることを防止し、日々の安心した生活につながるものと考えている。

教育行政報告—教育長

○学校教育

平成28年度小中学校の学級編成及び教員数は、小学校2校で14学級、児童1百22名、中学校2校で6学級、生徒53名となっている。教職員は42名。

宗谷地区中学校陸上大会が開催され、幌延中学校2年の柳沼君が1千5百メートルで見事優勝し、全道大会出場を決めた。

○社会教育

問寒別生涯学習センターの開館記念事業を開催し、1百82名のご来場をいただき、盛会に終了することができた。

剣道少年団では、8月に札幌市で開催される大会に幌延小学校6年の小原君、白田さん、5年生の黒金さん、3年生の橋本君が、天塩地区の代表メンバーの一員として出場する。



地域の課題をとりとえて

1氏が一般質問



見 悟 一 氏

・まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標について



乳量4万トンを維持するという目標設定をしている。

総合戦略の中で、規模拡大ゆとりある農業基盤などの他、法人化による生産基地を作ることを考えている。

質問 町への新しい流れを作るとして、移住・定住者を30戸増やすとしているが、公営住宅の家賃の助成などは考えているのか。

町長 政令で定めるところにより定めている。家賃に対する助成は考えていない。

質問 住民からの意見として、近隣町村よりも家賃が高いと言われている。実際に近隣町村から通っている人達もいる。石川県の穴水町などでは、地元から通っ

質問 人口基本目標で、平成22年10月1日の2千6百77人から、平成52年までの人口減少対策により2千2百41人となっている。現状をみると厳しいと思うが。

町長 人口目標数値2千2百41人の確保を目指しているが、簡単な目標ではない。しかし、社会経済及び生活基盤を将来に亘って維持していくために、総合戦略で掲げた。

質問 現実には、毎年50人くらいの方が幌延を離れて

いる。5年以内に2千2百人台になるのではないのか。打開策を持っているのか。

町長 転出を抑制して、出生率を上げていくという人口ビジョンに向かって、取り組んでいきたい。

質問 農業部門でも同じだ。地方創生計画では1億円くらいかけて事業を考えているが、現実としてみれば農業人口が増えることは難しい。

町長 農業人口についても、同じような考え方で、生産



6月定例会 「町民憲章朗読」